

福島県後期高齢者医療広域連合の財政状況 (平成19年4月1日～平成19年9月30日)

福島県後期高齢者医療広域連合の財政状況の作成及び公表に関する条例第2条第1項の規定により、平成18年度決算の概況及び平成19年度上半期の財政状況について次のとおり公表する。

本広域連合は、平成20年3月31日までは後期高齢者医療の事務の準備行為を行うものであり、平成18年度及び平成19年度は一般会計のみとなっている。

1 平成18年度決算の概況

(1) 平成18年度一般会計

歳入合計は、7,834千円で、財団法人福島県市町村振興協会からの運営経費交付金7,833千円とその他雑入の「諸収入」のみである。

歳出合計は、7,558千円で、内訳は議会費210千円(2.8%)、総務費7,348千円(97.2%)となっている。平成18年度においては、平成19年2月発足後2ヶ月の会計期間であったため、派遣職員人件費等5,535千円、その他事務費等の支出を行っている。

(表1)平成18年度一般会計歳入歳出決算状況

(単位:千円)

区分	款	決算額	構成比 (%)	備考
歳入	1 諸収入	7,834	100.0	財団法人福島県市町村振興協会後期高齢者医療広域連合運営経費交付金 外
	歳入合計	7,834	100.0	
歳出	1 議会費	210	2.8	議員報酬等
	2 総務費	7,348	97.2	派遣職員人件費等 外
	3 予備費	0	0.0	
	歳出合計	7,558	100.0	
歳入歳出差引残額		276	—	翌年度へ繰越

2 歳入歳出予算の執行の概況

(1) 平成19年度一般会計

歳入合計は、予算現額に対し収入済額が318,458千円と収入実績は50.1%となっている。構成市町村からの分賦金である「分担金及び負担金」の収入済額は50.0%で、納期内の収入がなされており、残額の納期については10月と翌年1月で収入するものである。

歳出合計は、予算現額に対して17.5%の執行率となっている。これは、派遣職員に係る人件費の精算(総務費・予算額172,875千円)が10月、翌年4月であることや、後期高齢者医療に係る電算システム関係委託料(民生費・予算額411,901千円)が年4回支払のうち3回が今後下半期以降に支払われるためである。

(表2)平成19年度一般会計歳入歳出予算執行状況

平成19年9月30日現在 (単位:千円)

区分	款	予算現額 A	調定済額	収入済額 B	収入未済額	B/A (%)
歳入	1 分担金及び負担金	635,706	476,801	317,896	158,905	50.0
	2 国庫支出金	1	0	0	0	0.0
	3 県支出金	1	0	0	0	0.0
	4 財産収入	519	279	279	0	53.8
	5 繰越金	1	276	276	0	27,600.0
	6 諸収入	14	7	7	0	50.0
	歳入合計	636,242	477,363	318,458	158,905	50.1

区分	款	予算現額 A	支出負担 行為額	支出済額 B	支出未済額	B/A (%)
歳出	1 議会費	1,398	182	182	0	13.0
	2 総務費	198,637	13,356	7,801	5,555	3.9
	3 民生費	428,207	411,739	103,489	308,250	24.2
	4 予備費	8,000	0	0	0	0.0
	歳出合計	636,242	425,277	111,472	313,805	17.5

歳入歳出差引残額 206,986千円

3 住民負担の概況 なし

4 財産及び一時借入金の現在高 なし